

第3章 主要指標の見通し

3-1 人口（総人口、年齢構成別人口割合）

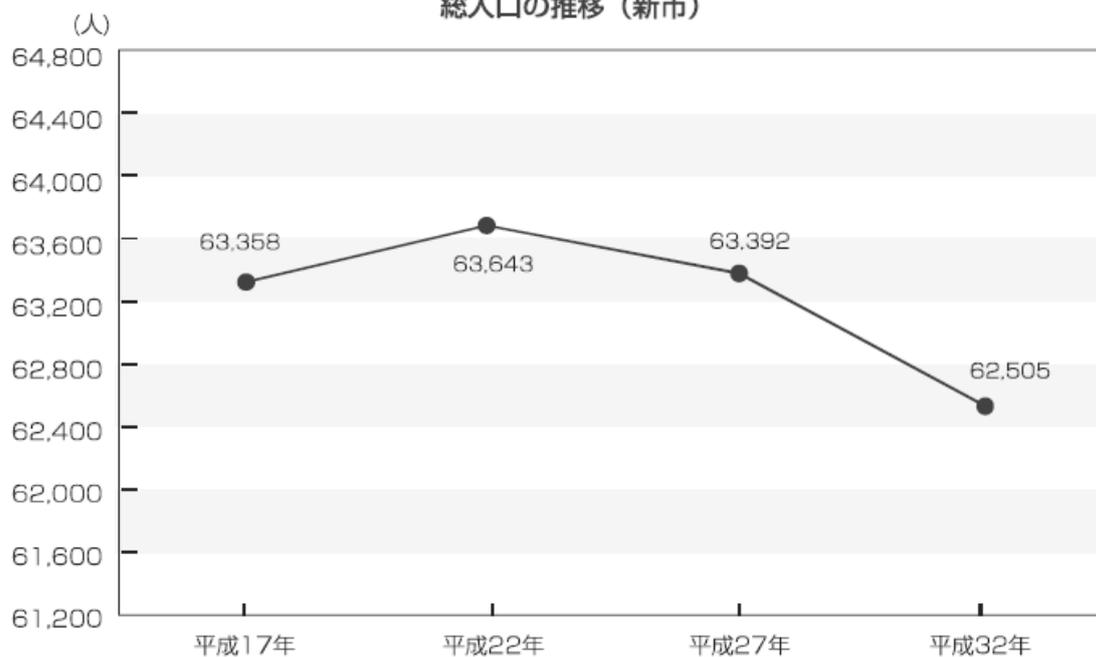
平成17年までの国勢調査の結果に従い、コーホート要因法によって新市の人口を推計すると、総人口（合計）は平成17年の約63,400人から微増減を繰り返しながら10年間は横ばいのまま推移し、平成27年時点でも約63,400人と見込まれます。その後やや減少し平成32年には約62,500人になるものと見込まれます。

総人口の推移

（単位：人）

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)
清 須 市	55,038	55,281	54,999	54,276
春 日 町	8,320	8,362	8,393	8,229
新 市	63,358	63,643	63,392	62,505

総人口の推移（新市）



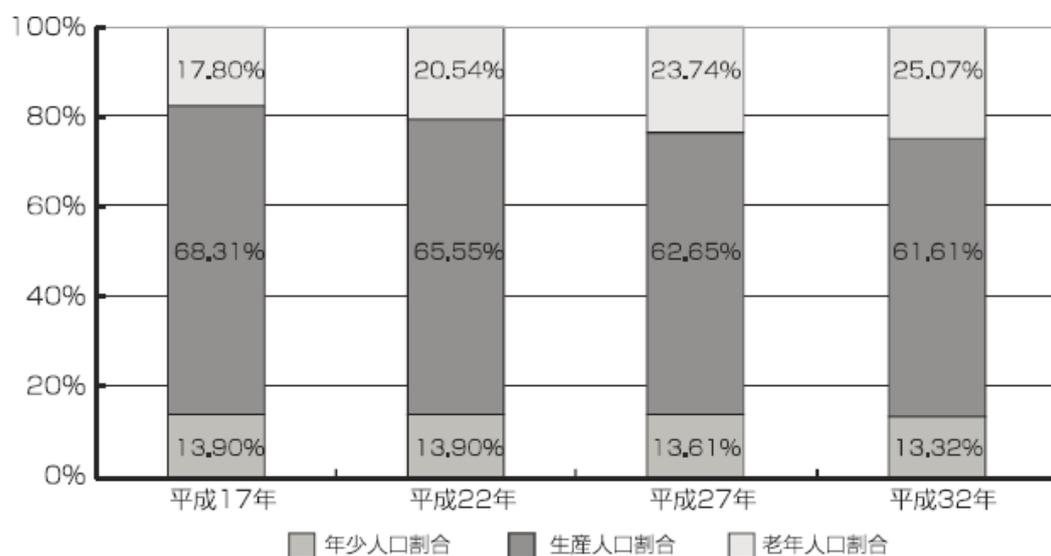
※コーホート要因法：コーホートとは同年又は同期間に出生した集団のことを指し、その集団ごとの時間変化（出生、死亡、社会移動）をもとに人口の変化をとらえる方法。

年齢構成別人口割合については、少子・高齢化が進み、0歳から14歳の年少人口割合は平成17年の13.90%から平成32年には13.32%に、65歳以上の老年人口割合は平成17年の17.80%から平成32年には25.07%になるものと見込まれます。

年齢構成別人口割合の推移

		平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)
清 須 市	年少人口割合	13.93%	13.97%	13.86%	13.68%
	生産人口割合	68.09%	65.42%	62.49%	61.47%
	老年人口割合	17.98%	20.61%	23.65%	24.86%
春 日 町	年少人口割合	13.67%	13.47%	12.00%	11.01%
	生産人口割合	69.74%	66.42%	63.73%	62.53%
	老年人口割合	16.60%	20.11%	24.27%	26.46%
新 市	年少人口割合	13.90%	13.90%	13.61%	13.32%
	生産人口割合	68.31%	65.55%	62.65%	61.61%
	老年人口割合	17.80%	20.54%	23.74%	25.07%

年齢構成別人口割合の推移（新市）



*注：年齢構成別人口には「年齢不詳」を含まない。

3-2 世帯数

清須市と春日町におけるこれまでの世帯数の推移と今後の人口の見通しから、トレンド法によって今後の世帯数の見通しを明らかにします。

清須市も春日町も、これまで世帯数は概ね増加傾向にあり、その伸びは人口増加とほぼ同じかやや上回っていたため、1世帯当りの人員も少なくなってきました。こうした傾向が変わらないとすると、今後ますます世帯当り人員が減少し、一方で人口は横ばいから増加傾向となるため、世帯数はこれまで以上に増加することが予想されます。

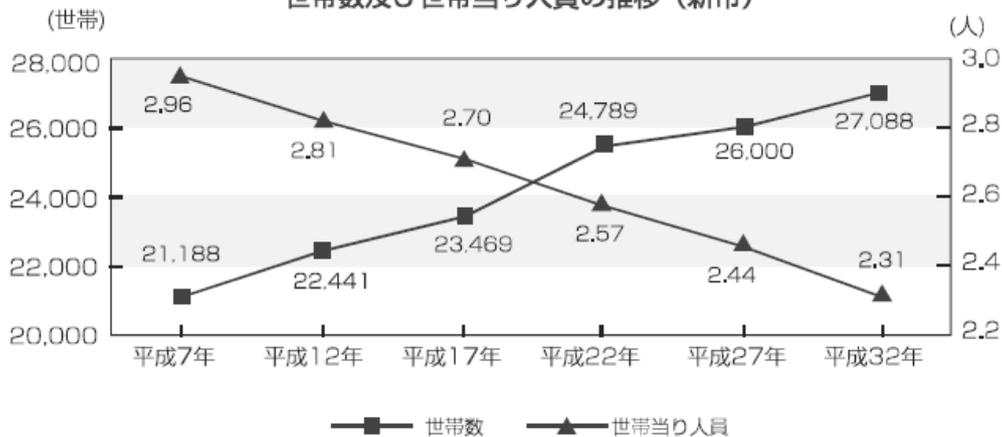
この結果、新市の世帯数は、平成17年の約23,500世帯から平成32年には約27,000世帯へと増加することが見込まれます。

世帯数及び世帯当り人員の推移

(単位：人、世帯)

		平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)
清須市	人口	55,168	54,893	55,038	55,281	54,999	54,276
	世帯当り人員	2.91	2.78	2.64	2.51	2.37	2.24
	世帯数	18,938	19,743	20,882	22,054	23,190	24,266
春日町	人口	7,570	8,116	8,320	8,362	8,393	8,229
	世帯当り人員	3.36	3.01	3.22	3.06	2.99	2.92
	世帯数	2,250	2,698	2,587	2,736	2,810	2,821
新市	世帯数	21,188	22,441	23,469	24,789	26,000	27,088
	世帯当り人員	2.96	2.81	2.70	2.57	2.44	2.31

世帯数及び世帯当り人員の推移（新市）



※トレンド法：過去の動態、いわゆるトレンド（傾向）が将来とも同様に推移するという考えに基づく推計方法。